

令和6年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市心身障害児通園施設「しいのみ学園」			所管課 TEL	こども福祉課 33 - 4767				
所在地	松本市双葉4番16号			設置年月	昭和46年4月				
施設設置目的	心身障がい児に対し、母子通園・単独通園により、療育相談や生活訓練を行い機能回復を図る。								
施設概要・設備	松本市総合社会福祉センター1階 259.19㎡								
指定管理者名（選定方式）	社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 （特命）								
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5か年）								
指定管理者の 主な業務	障がい児の相談及び指導、障がい児の療育及び訓練、送迎車両の管理及び運行								
利用料金制の導入	あり 利用料金制（独立採算）								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比（％）	対前年比（％）				
	児童発達支援利用延べ人数	1,700	1,200	70.6%	90.0%				
	放課後等デイサービス利用延べ人数	100	191	191.0%	97.4%				
	（特記事項） 1日あたり利用人数 児童発達支援5.8人 放課後等デイサービス0.8人								
事業収支 （単位：円）	指定管理者収支（令和6年度）				市の収支				
	収入 （歳入）	年度計画額		収支実績額		令和6年度決算		令和5年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料	0	指定管理料	0	国庫補助金	8,579,416	国庫補助金	10,778,280
		事業収入	21,285,000	事業収入	22,187,735	県費補助金	4,289,708	県費補助金	5,389,140
		県費補助金	1,000	県費補助金	39,044				
		自主事業収入	118,000	自主事業収入	139,100				
		繰越金	1,014,000	繰越金	1,013,052				
	雑収入等	137,000	雑収入等	88,200					
	拠点区分間繰入金収入	2,368,000	拠点区分間繰入金収入	2,368,000					
	計	24,923,000	計	25,835,131	計	12,869,124	計	16,167,420	
支出 （歳出）	人件費	21,976,000	人件費	21,411,696	利用促進費 扶助費	139,100	利用促進費 扶助費	293,290	
	事業費	780,000	事業費	760,605		17,158,832	21,556,560		
	事務費	1,854,000	【内訳】保健衛生費・教養娯楽費						
	負担金	1,000	・燃料費・消耗器具備品費・保険料・						
	拠点区分間繰入金支出等	312,000	車輛費・雑支出						
			事務費	1,720,070					
			【内訳】福利厚生費・諸謝金・旅費						
		・研修費・消耗品費・印刷製本費・修繕費							
		・通信費・委託費・手数料・負担金・租税公課							
		負担金	0						
		拠点区分間繰入金支出等	311,994						
	計	24,923,000	計	24,204,365	計	17,297,932	計	21,849,850	
損益	0		1,630,766		差引	-4,428,808	差引	-5,682,430	
（特記事項）									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評 価 の 基 準		
A	（ １ . ０ ）	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	（ ０ . ７ ）	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	（ ０ . ５ ）	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	（ ０ . ０ ）	不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
68.2

大項目	中項目	評 価 項 目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	A	施設の性質上対象者は特定される。サービス提供が難しく、職員の業務量が多い利用者も積極的に受け入れている。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件モニタリグ様式で確認し問題は無い。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	A	関係機関への連絡方法等が整備され、組織的に対応できる仕組みが整っている。また利用者を含めた避難訓練も定期的に実施している。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	日々の職場ミーティングで対象児童の心身の状況を共有し、ヒヤリハット事故発生防止に取り組んでいる。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	利用契約書の中に、個人情報の保護が明記されており、また電子データの管理も法人全体で対策に取り組んでいる。
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	法人本部を含め複数の職員で経理を管理。決算情報は公開しており、監査請求に対処できる内容になっている。
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	財務モニタリグ様式で確認。当該施設は利用者の減少により収入も減少しているが法人の資産状況から安定運営が継続できる。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	同一の建物内に法人本部がある。また医療・福祉の様々な専門資格を有する職員が配置されていて支援体制は確立されている。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画であり、適切に計画が履行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	市とは相互に連絡がとれ情報共有が図られている。また協力医療機関等とも必要時連携がとれている。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	C	一定期間、看護師を配置できなかった等、通年で必要な職員を配置することができなかった。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	園長が専門資格を有しており、別に児童発達支援管理責任者を配置することで、役割を明確にし、指揮系統が適切な状態となっている。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	A	ワークライフバランスデーの実施や育児中の職員が時短勤務を選択できる体制ができている等、働き方改革に取り組んでいる。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	A	計画的なOJTの実施、外部研修会への参加により支援に必要なスキルの獲得に取り組んでおり、事故報告は無かった。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	複数の職員によって会計処理の確認がされた後に、支払いが行われているため問題はない。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	市の要求水準内の施設管理業務のなかで第三者へ委託する業務はない。水準を超えるものは法人が一括し委託している。
		17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	事業ごとの事業内容、利用実績が分かる報告書を提供月の翌月に適切に提出されている。
	安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	救急法、心肺蘇生法、AED操作講習の実施を計画的に行い、職員の教育をしている。安全計画も作成済み。
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	C	アンケートから入口のドアの修繕要望が出ているが、実施ができていない。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	A	施設設置目的を把握した運営によりアンケートで「今後も利用したか」で「はい」が91%（1名は無回答）であった。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	A	事業量が適切に実行されており、アンケートでは年間開園日数について「現状で良い」との回答が91%（1名無回答）であった。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	法人として地域住民や団体との連携に取り組んでいる。保育園との交流も計画したが感染症の関係で実施できなかった。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	施設利用対象児童が限定されるため利用率の向上とはなりにくいが、利用希望に対しては基準範囲内で受入を行ってきた。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	活動プログラムを固定化しないよう配慮をしており、アンケート回答でも「工夫されている」が81.3%であった。
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	A	施設の特性から障がい児に配慮した管理がなされている。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に対応しているか	3	A	毎月行っている個別懇談会で利用者からの要望等を聞きとり、併せてアンケート調査を実施し業務改善に取り組んでいる。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	毎月の実績報告書提出、年1回の自己評価結果の公表の実施にてセルフモニタリングを適切に行っている。
	環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	省エネルギー・省資源・事務用紙等の廃棄物削減など環境への配慮に積極的に取り組んでいる。
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	役割分業による業務の効率化に積極的に取り組んでいる。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	事業に関する支出は事業計画書の範囲内。利用者都合による利用キャンセルが多く利用者数及び収入の増加はできなかった。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和7年2月25日から令和7年3月14日
	調査対象	通所児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙配布し、施設内の回収箱で回収。
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和6年度の 自己評価	○人手不足もある中で、保護者の皆様から沢山のご協力を頂きながら日々の活動や沢山の行事を滞りなく、安全に楽しく行うことができた。 ○子どもたちが日々成長していく姿を、保護者と共に沢山喜び合うことができ、励みとなった。 ○保育士・看護師の欠員に対して沢山のご心配を頂いた。新たな職員の求人をお願いするとともに、加配保育士を増やす等の対応をし、サービスの質の維持、向上に努めた。
要望・苦情への 対応状況	
今後の目標	○色々な疾患や障害を持ち、医療的ケアを必要とするなど、ご家族にとっての「不安」や「悩み」など全ての困りごとに寄り添いながら、親子ともに、穏やかに安心して育児・生活が出来るようにサポートしていきたい。 ○保護者の「話を聞いてほしい」・「相談したい」等の訴えに対応できるように、ゆとりを持った人員配置や看護師等の専門職の安定的な確保に努めていきたい。 ○肢体不自由児や重症心身障害児・医療的ケア児を積極的に受け入れている特徴を生かして、他市町村からの受け入れ依頼にも応えていきたい。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】

昨年度同様、タイムケア事業を実施。指定管理業務の利用児童の兄弟姉妹の受入れを主に行うことで、利用を必要としている児童の継続利用が実現している。

【個別施設ごとのテーマに対する評価 設定がある場合】

医療的ケアを必要とする児童の受入を積極的に行っていた。支援の困難な利用希望者が出た時も断るのではなく、どのように支援をすれば利用ができるかを検討し受け入れを行ってきた。

看護師が一定期間配置できなかったり、保育士の退職後の補充が困難であったりと必要なサービスを提供するために必要な人員の確保ができない時期があった。

職員の努力により利用ニーズは満たしたが、医療的ケアを必要とする児童のニーズは継続的なもので、安定した受け入れ体制の確保が引き続き必要となる。

【総合的な評価】

利用者アンケートにも記載があるとおり、必要な人員を年間を通して配置することができなかった。配置されている職員の丁寧な対応により利用者ニーズは満たされた結果となったが、利用者が職員の負担感を心配するといった事態となってしまった。

事業に求められる専門性のため、代替法人の検討は困難である。指定管理者の努力が必要であるが、指定管理者のみでは課題の解決が難しいため、市も含めた課題解決の取組みが必要となる。

配点	評価
10	C
点数	5

合計点数

73.2

判断結果

適正

判断の基準

75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	「不可」

「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和7年2月25日から令和7年3月14日
	調査対象	通所児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙配布し、施設内の回収箱で回収。
調査結果	実施状況 通所児童の保護者19名に配布。 回答者16名（回収率84.2%） ○活動等のスペースは確保されているか はい181.3% どちらともいえない18.8% ○職員の配置数や専門性は適切か はい150% どちらともいえない16.3% いいえ43.8% ○事業所の設備は整備されているか はい175% どちらともいえない12.5% いいえ6.3% ○清潔で心地良く、活動に合わせた環境か はい191% どちらともいえない19% ○ニーズや課題を踏まえた支援計画となっているか はい193.8% どちらともいえない16.3% ○計画に具体的な課題や支援内容が設定されているか はい182% どちらともいえない18% ○支援計画に沿った支援が行われているか はい164% どちらともいえない18% わからない19% ○活動内容が工夫されているか はい181.3% どちらともいえない18.8% ○地域との交流や関係機関との連携はあるか はい131.3% どちらともいえない25% いいえ25% わからない18.8% ○運営規程、利用者負担等について丁寧な説明があったか はい191% どちらともいえない19% ○支援計画、療育内容について丁寧な説明がされているか はい193.8% どちらともいえない16.3% ○家族支援プログラムが行われているか はい173% どちらともいえない18% わからない19% ○児の発達状況や課題について職員と共通理解ができているか はい193.8% どちらともいえない6.3% ○定期的に面談や助言等の支援が行われているか はい181.3% どちらともいえない16.3% いいえ6.3% ○保護者同士の交流の機会や連携が支援されているか はい168.8% どちらともいえない18.8% いいえ6.3% ○相談に対して速やかな対応があるか はい193.8% ○職員との意思疎通、情報伝達への配慮はあるか はい181.3% どちらともいえない16.3% わからない6.3% ○定期的に活動概要や行事予定、業務に関する自己評価が発信されているか はい181.3% どちらともいえない12.5% ○個人情報を守られているか はい187.5% どちらともいえない16.3% ○緊急時、防犯、感染症等の対応について周知・説明がされているか はい181.3% どちらともいえない12.5% ○定期的に避難訓練が行われているか はい168.8% どちらともいえない16.3% わからない18.8% ○子どもは通所を楽しみにしているか はい193.8% ○事業所の支援に満足しているか はい181.3% どちらともいえない16.3% わからない16.3% ○単独通園はあった方が良かったか はい156.3% わからない16.3% ○年間開園日数について 現状で良い191% ○今後も利用したいか はい191%	
利用者からの意見 要望・苦情等	○保護者の意見を取りまとめた「要望書への回答依頼」の文書が提出されるが、利用者の声が行政や社協にしっかり届き、共に改善に向かってよりよい、しいのみ学園への未来へつながってほしいと切に願います。松本市と社協の皆様よろしく願います。 ○親子共々しいのみ学園が大好きです。いつも楽しく通わせて頂きありがとうございます。 ○保育士、看護師が不足している中で、利用者の子供達や親に影響が出ないように、先生方は本当に頑張ってくださっていると思います。ですが、このような状態が続くことは問題だと思います。 ○先生方の無理のない範囲で業務をしてほしいです。 ○玄関ドアが重いと思う。大きな荷物を抱えている方もいるので、開けやすくかつ防犯もしっかりしたドアが望ましいと感じる。 ○保育士の確保をお願いしたい。	